

宮本信子さん

「旭日小綬章」
受章

愛知淑徳を卒業して60年。
「淑徳魂」を燃やして
自分の芯を磨き、
女優として歩み続ける。

女優 宮本 信子さん

1957年4月に愛知淑徳中学校に入学。6年間、勉学や部活動、学校行事に励み、1963年3月に愛知淑徳高等学校を卒業。
女優としてのキャリアは約60年。1964年に初舞台を踏み、舞台や映画、テレビドラマなど数多くの作品に出演。1985年「お葬式」で日本アカデミー賞優秀主演女優賞、1988年「マルサの女」でシカゴ国際映画祭最優秀主演女優賞など多数受賞。2022年「第76回毎日映画コンクール」田中絹代賞受賞。2014年に紫綬褒章、2022年に旭日小綬章を受章。
2005年5月、愛知淑徳学園創立100周年記念事業の一つとして「中学・高校記念コンサート—宮本信子」を開催。



受章を経てより深まる、 みなさまへの感謝の思い。

令和4年秋の叙勲で旭日小綬章をいただき、思ってもみない栄誉なことに、知らせて聞いた当初は驚きをこえてキョトンとしてしまいました。お世話になっているスタッフやまわりの方々がお祝いのお言葉をくださり、我がごとのように喜んでくださって、それがとても嬉しくて、本当にありがたいなと思っています。みなさまに支えていただいていたので、感謝の気持ちでいっぱいです。毎日毎日いろんな現場に行き、一つひとつの仕事を積み重ねてきたことが、認めていただけたのだと感じています。だから、受章して自分自身の姿勢に何か変化があるわけではなく、これまでと同じ。平常心でしっかりと生きていく、そんな日々です。

自分の「芯」を磨き、 演技を研ぎ澄ませる。

愛知淑徳高等学校を卒業後、上京して60年。それからずっと女優を続けることができたのは、いろんな方々と出会い、そのみなさまと一緒に仕事をしてきたからだと感謝しています。

私は、女優を辞めたいと思ったことが一度

もありません。失敗することもありましたし、出演依頼が全然こなくて「私って必要とされていないの？」というときもありました。けれど、失敗してもやり直せばいいし、仕事がないならレッスンの時間と捉えればいい。そんなふうに向きに進んできました。また、いろんな役を演じるために、いろんな人の行動や気持ちを見て感じて、自分の中に蓄えて、仕事に恵まれたときに深い演技ができるよう努めてきました。

女優として願うのは、いい仕事に巡り合うこと。そのために自分をどうしたらいいか？どう勉強したらいいか？どう生きていくか？そう考えて、自分自身を磨いてきました。外面の美しさだけでなく、内面にあるものが、顔にも目にも表れますからね。若いうちは若さにカモフラージュされていますけれど、ある年齢になって全部が取っ払われたときに何が現れてくるかといったら、自分の「芯」だと思います。きれいなお米の芯のような研ぎ澄まされた演技に近づくために、自分の芯を磨き続けています。

力を引き出してくれた 恩師の叱咤激励。

私にとって、芯を形づくっているもの「淑徳魂」でしょうか。「質実剛健」「明朗快活」

「謙讓優雅」の校訓は骨の髄まで染み入ります(笑)。愛知淑徳での6年間は、とても充実していて、本当に楽しかった！思い出深いのは体育祭や文化祭。クラス対抗でしたから、ものすごい盛り上がり。みんながエネルギーにあふれて、先生方まで「あのクラスには負けるな！」なんて燃えていました。

部活も盛んで、私は中学校では演劇部、高校ではバスケットボール部でした。忘れられないのが、高校生のときの出来事。運動部だからと勉強を怠っていた時期があったのですが、ある日、社会科の近藤先生が「宮本！ちょっと来い！」と渡り廊下で呼び付け、「勉強を怠けているんじゃないか！宮本は部活も勉強もできると思っていたのに、なんだ！」とこっぴどく叱ってきたのです。みんなが見ている前で(笑)。悔しくて「よし！近藤先生を見返してやるう」と勉強にも打ち込むようになったら、成績が上がっていききました。少し経って冷静になると「近藤先生はありがたい言葉をくれたんだ」と反省。担任でもないのにビシッと叱って、力を引き出してくださったのですから。愛知淑徳の先生方は、みなさん生徒思い。校長だった小林素三郎先生も、いつも校内を歩きまわって生徒一人ひとりのことを見守り、私にもよく声をかけてくださっていました。

何事にも真剣に、 一生懸命に取り組む。

これからも、いただいた仕事に対して真剣に取り組みたいと思います。女優には定年がありませんし、今も修行の身です。さまざま人の人生を生きることで、女優という仕事を楽しく続けたいですね。愛知淑徳中高・大学で学ぶみなさんも、何事にも一生懸命に励んで、自分が楽しいと思えるものを見つけてください。最後になりましたが、卒業生の一人として、愛知淑徳学園のますますのご発展を願っています。

